

【追録】 研究塾『つながり』の軌跡

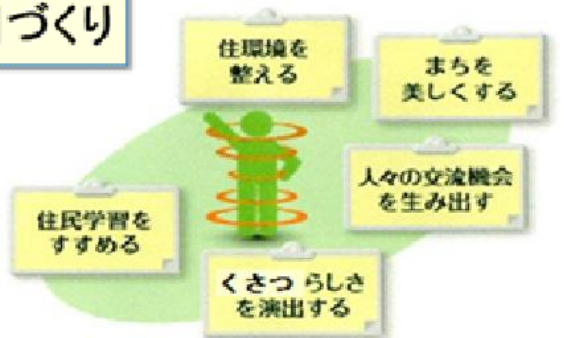
設立 2021(令和3)年4月

みんなで創るまちづくりへの参加

楽しんで自己を成長させる仲間づくり

《行動指針》

地域環境や時代の変化
と未来の創造
・・・らしさが心地よい



これからの街づくり

ひとと人の触れ合い...言葉のとき...

住居の身近なところに
人の集まる場所が必要では...

南笠東学区の拠点...
まちづくりセンター
狼川河川公園

拠点となる場所

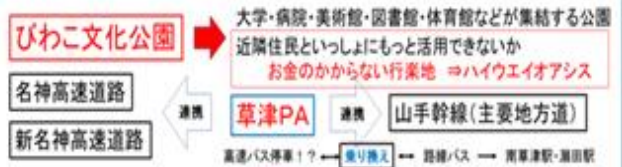
- ・歩いていけるところ
- ・人と話しができるところ

元気である・健幸

- ・豊やかで幸せなライフスタイルを描く
- ・公共交通機関を使ってみんなで出かける

もっと人が集まる！もっと広域的に！もっと利便性の高い！そんな場所があるのでは???

滋賀県(草津市)の南の玄関口



草津PAと連携した拠点整備構想

- ①交通結束接続点
- ②広域防災拠点
- 道のびわこ文化公園都市の活性化
- ③道の駅等と連携したにぎわい拠点

第1期 2021(令和3)年6月～2022(令和4)年3月

《研究テーマ》

『人が集う 安心して暮らすことができる 魅力的な都市形成』



第1-1講座

2021年6月21日

開塾記念講演会

草津市民交流プラザ(フェリエ5階大会議室)

コンパクトシティ+ネットワークの考え方と
多極ネットワーク型の都市形成を理解する



草津市・3つの計画の連携

- ・草津市立地適正化計画
- ・草津市版地域再生計画
- ・草津市公共交通網形成計画

講師 立命館大学名誉教授
塚口 博司 先生



定例研究会

草津市民交流プラザ(フェリエ5階小会議室2)

1. 多様な地域資源の活用と地域連携拠点の機能展開
2. 「道の駅」の設置要件と観光を加速する拠点となる複合施設



専任講師
立命館大学工学部 建築都市デザイン学科
助教 藤井健史 先生

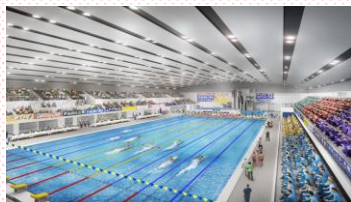
定例研究会

草津市民交流プラザ(フェリエ5階中会議室)

1. 草津市議会の様子と市政情報の提供



給食センター



草津市立プールの建設



GIGA スクール

2. 「情報通信基盤等の環境整備」 Society5.0 やスーパーシティ構想の展望



・人は知らないということで不安になります。
 ・AI の革命は、深く知らなくても、**恵を享受できる社会が到来してきたと**見えます。
 ・いろいろとわからないことが多い時代であっても、**高齢者にとって優しい社会が展望できそうです。**

研究発表

近畿圏の道の駅を対象とした空間のつながり方の分析

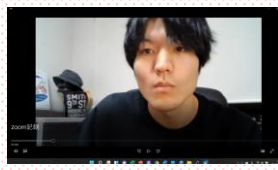
- 第1ステージ
通過する道路利用者のサービス提供の場
- 第2ステージ
道の駅自体が目的地
- 第3ステージ
地方創生・観光を加速する拠点

道の駅は今や単に休憩を目的とした施設ではなく、地域活性化の核として期待され様々な取り組みが行われてきています。

諸室の機能は多様化し空間構成は複雑化しています。

道の駅を空間構成から定量的に分析することは今後の道の駅の開発に有意義な一助を与えられれます。

立命館大学
修士2回生
大坪 篤貴 君



市政情報の学習

草津市の気候異常事態(ゼロカーボン)宣言



新たな1歩 草津市の目標

国・県の削減目標の達成に寄与することを目標

温室効果ガス(CO₂)の排出量について、2030年度に2013年度比で50%削減を目指します

これまでの取組を振り返りつつ『脱炭素社会づくり』に向けて

“今一度、各々が何をすべきかを考える”

きっかけにしてほしいという思いを込めています

令和3(2021)年12月17日(金曜)市と議会は共同で「草津市気候非常事態宣言」を行い、ゼロカーボンシティを表明しました。

これは、地球温暖化による気候変動に対する危機意識を市民のみならずと共有することで、市をあげて脱炭素社会の実現に向けた行動目標を示すためのものです。

未来は、私たち一人ひとりの、これからの自発的な行動に委ねられています。今一度、気候変動による危機に対して自分に何ができるのかを考え、行動するとともに、共に協力し合いながら、ゼロカーボンシティを目指していきましょう。

草津市 環境経済部

第2期

2022(令和4)年5月~2023(令和5)年4月

《研究テーマ》

『草津市の魅力を引き出すためのしかけづくり』
(知識の習得とフィールドワークを通じた実践活動)



第2期 キックオフイベント

花と向き合う



生け花パフォーマンス&パネルトーク

2022年6月4日 南草津ロマンホール





第2-2講座

地名のなぞ解き



マチアルキ-自分で
つくれるARアプリ
FOR IOS・GPSRUI.CO.,LTD.

2022年8月24日
主会場
草津まちづくりセンター

「過去」と「今」そして「未来」へのひろがり
フィールドワーク アプリを使ったマチアルキ



講話 2つの歴史街道（東山道・東海道）が紡ぐ草津市の魅力発見

草津市街道交流館 館長 八杉 淳 様



第2-3講座

秋の日の風



2022年11月20日

草津市
北部エリアの探索

観光・レクリエーション拠点のつながり検証

ふるさと草津 未来へつなぐ「信頼の水」を届ける事業
北山田浄水場



【中中の学習】
道の駅リノベーション構想と烏丸半島のゾーン整備について
草津市都市計画部 副部長 一浦辰己氏



三大神社



ニュース 風流踊「近江湖南のサンヤレ踊り」
がユネスコ無形文化遺産に認定



からすま半島 ゾーン整備



地元農家等

研究塾『つながり』の今後を聞いてみました。

1) メンバー構成は？

- ・同世代のメンバーだけでも良いが自由参加で年代を問わずに参加を募るのも良い
- ・意見に偏りがなければ、同世代で仲間を拡げることも良い
- ・やはり学生(大学・高校)の参画は必要ですね！女性の参加も期待したいですね！
- ・団塊の世代・バブル世代やZ世代との交流
- ・子育て世代の方々

2) 研究塾の次のステップはどのようなテーマが考えられますか？

- ・趣味の世界
- ・街の発展が感じられる「文化・芸術の振興」や「安全・安心の体感」
- ・子ども家庭庁がスタートした事を機に”子ども育成“
- ・“インフラ”
- ・“魅力”の次はまちづくりのつながるテーマにしては・・と思います。
- ・地域における高齢者の居場所づくり

3) その他

- ・Zoomを使って遠方でも参加可能な形態で年1回くらいの講座を増やす。(登録制)
- ・コロナ禍も少し治まってきたので、もう少し参加者を増やしても良いと思います。
- ・議員さんたちとの意見交換会を開催してはいかがでしょうか。

編集後記

研究塾『つながり』は、2年余りで8回の研究会を修了することができました。

第1期は大学生の方々、第2期は高校生の方々と異世代交流の中で地域を探ってきた軌跡として、新たな文化や可能性を8冊の記録本に残すことができました。これも、行政・学校・企業のご支援とご協力の賜物と深く感謝いたします。

追いつけた「ひとが集うまち」「未来の創造」で得たものは、豊かな自然と温暖な気候に恵まれた滋賀県(草津)の風土が新たな事業を生み出す土壌と地域の魅力発見でした。

そして、途中で見つけた『うまくいっても いかなくても
それはそれで楽しい』というフレーズは物事に立ち向かう
応援歌として響いていました。

その背景には、研究塾を計画していくうえで、後押しをして
くださった方々やご参加くださった方々が浮かんできます。



研究塾は、ここで得た信条「**出会いと仲間のシナリオづくり**」に共感くださる方々と一緒に
第3期の『**素敵な出会いの場づくり**』に取り組んでまいりたいと思います。
改めて、『あなたに出会えたご縁』に感謝申し上げます。

追伸、本誌の編集にあたり所感を一言

『同年代は、好きなことをいっているようですが、一つひとつが含蓄あるコメントです。
ありがとうございました。』

ひと・まち。未来研究塾 代表 川瀬善行 拝



研究塾のサイト

ひと・まち・未来研究塾

『つながり』

<https://tsunagari932.net>

左のキーワードで検索ください

「過去」と「今」そして「未来」をつなぐ、人の命

快適な市民生活を進めるための環境整備『生活インフラ』の概念は、達成度から満足度に移行しています。

市民が快適な生活環境を意識化することは「求める社会」ではなく「創る社会」の出発点です。

※ 学問の要は、事物のリレーションを知るにあり 《福沢諭吉》

ひと・まち・未来研究塾『つながり』
第2期第4講座の記録

発行 2023(令和5)年7月1日 300部